

# 第5回

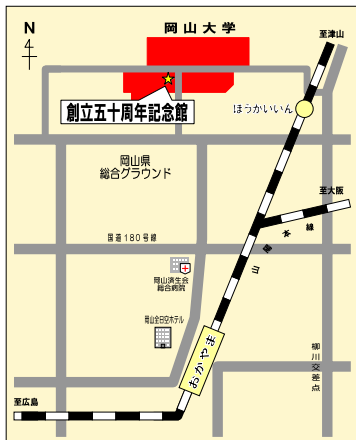
## 岡大サイエンスカフェ

# 有田焼 “柿右衛門の赤絵”と “吹屋ベンガラ”の赤色を科学する —伝統技術に潜むナノテクの不思議—

講師:岡山大学大学院自然科学研究科長

高田 潤 教授

世界の美術界で高い評価を得ている有田焼の“柿右衛門の赤絵”は、赤色顔料であるベンガラ(酸化鉄)の赤色の美しさを最高に利用しています。この“柿右衛門の赤絵”の釉薬原料は、皆さんご存知の岡山県産の“吹屋ベンガラ”なのです。今回のカフェでは、これらの伝統技術の謎を探ってみた結果をご紹介します。それらは、実は最近話題になっているナノテクノロジーであることに驚かれるでしょう。私たち岡山大学グループは、現在では製造されていない“吹屋ベンガラ”を復元し、新しい吹屋ベンガラを開発することに成功しました。この新ベンガラが今後どのように使われようとしているかについてもお話します。



## 参加者募集

- ◆開催日時  
平成19年10月23日(火)  
午後6:00~7:30
- ◆開催場所  
岡山大学創立五十周年記念館
- ◆申込先  
岡山大学 社会連携センター  
FAX:086-251-8467  
E-mail: [s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp)
- ◆締め切り  
平成19年10月18日(木) 午後5時  
氏名・年齢・連絡先・電話番号は必ず明記してください
- ◆参加費  
無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先  
Tel:086-251-7112  
社会連携センター 松浦

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも  
(岡山大学の教職員・学生は対象外)